

(第6条関係)

事業概要書

事業名	地域ねこ活動推進事業
団体名	まつど地域ねこ会
事業担当課	環境保全課

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>市内では、飼い猫及び野良猫による糞尿被害、無責任なエサやり、また不妊、去勢手術が施されていない猫によるトラブルが増加している。</p> <p>しかしながら、<u>地域の問題としての認識</u>が住民に浸透していない現状から、個々の問題として悩みを抱えている人が多く見受けられる。</p> <p>飼い猫の飼い主に対し、不妊・去勢手術、屋内飼育の徹底など、正しい飼養を指導する必要がある。</p> <p>野良猫については、野良猫の習性や増加原因を正しく知ることにより、無責任な餌やりの防止や、繁殖制限など地域ねこ活動が解決に導く有効な方法であることを理解してもらう必要がある。前年に引き続き継続的な事業を展開して行きたい。</p>
事業の目的	<p>生活環境の保全と不幸な猫を増やさない為、<u>地域ねこ活動の正しい理解と普及</u>を目指す。</p> <p>野良猫トラブルの解決法として、地域に住み慣れた野良猫を排除するのではなく<u>地域ねこ</u>として、人と猫とが優しく共生出来る地域社会作りを目指す。</p> <p>前年度の協働事業で行った広報活動の内容を、本年度は具体的に行動に移して、<u>地域ねこ活動のモデルケース</u>のようなものを作りたい。</p> <p>まつど地域ねこ会や環境保全課に寄せられる野良猫トラブルの苦情や相談、協働事業で行うセミナーや相談会で寄せられた情報などを元に、トラブルの起きている現場に赴いて、トラブル解決のためのアドバイスや、現地での地域ねこ活動の指導や協力、コーディネート等を行い、<u>地域ねこ活動の普及啓蒙</u>を図るとともに、野良猫トラブルの解消と、人と猫とが共生できる、<u>優しい町づくり</u>を目指し、<u>やさシティ、まつど</u>を実践する！</p>
事業内容	<p>地域ねこ活動勉強会の開催</p> <p>地域ねこ活動に携わる人たちを集めて、講師を招いて地域ねこ対策の現状や課題、ノウハウ等を学び、メンバーや地域ねこ活動を行う人たちの見識を高め、行政及び他の団体や活動家の人たちとの交流を図る。</p> <p>地域ねこ対策セミナーの開催</p> <p>一般の人たち向けに講師を招いて、野良猫トラブルの解決や、地域ねこ活動等の公演を行い、地域ねこ活動の普及啓蒙をはかるとともに、野良猫トラブル対策の相談会を開いて、情報を集め現状を把握し、その解決に関わることによって、具体的な地域ねこ活動の育成に務める。</p> <p>街頭PR活動</p> <p>地域ねこ対策のパンフレット等を作成し、街頭にて配布しながら、地域ねこ活動のPRをする。</p>

	<p>パネル展の開催</p> <p>地域ねこ対策のPRパネルを制作し、それを展示することで、一般市民に向けて、地域ねこ活動の普及啓蒙をはかる。</p> <p>野良猫トラブルの解決と地域ねこ活動の普及育成</p> <p>まつど地域ねこ会や環境保全課に寄せられた猫トラブルの相談や苦情、セミナーや相談会等で寄せられた地域ねこ対策等の相談を元に、現場に赴いて自治会等に働きかけ、野良猫トラブル解消のために、地域ねこ活動のアドバイスやコーディネート等を行うことによって、その地域での地域ねこ活動の発足や育成に努め、その地域に根ざした地域ねこ活動によって、野良猫トラブルの解決をはかる。</p> <p>正しい地域ねこ活動の啓蒙と普及</p> <p>市内各所で野良猫対策や地域ねこ活動をしている人たちとの交流をはかり、それらの人たちとの情報交換や相談、アドバイスによって、松戸市が推奨する正しい地域ねこ活動の啓蒙普及と指導を行い、地域ねこ活動バッチの交付につなげて、松戸市に正しい地域ねこ活動を根付かせる。</p>
協働の必要性	<p>①地域ねこ対策活動が、市とボランティア団体との協働事業であることが広く市民に周知される。</p> <p>②ボランティア団体の存在や、活動が認知されることにより地域ねこ対策活動の促進と地域の問題解決に有用となる。</p> <p>③情報の共有と地域ねこ対策活動のルール整備・拡充を図ることで、他の様々な団体と交流を図ることが出来る。</p>
事業の目標	<p>現在、ほとんど認知されていない地域ねこ対策活動の広報活動を継続的に進めることで、認知度を上げ地域ねこ対策活動が、猫が好きな人も、嫌いな人も、猫によるトラブルを回避する有効な方法(最善策)として理解、賛同を得られる活動とすること。</p>

(第6条関係)

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

(単位:円)

区分	科 目	金 額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 261,020	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	金 額	積算内訳
団体	まつど地域ねこ会 拠出金	¥ 50,000	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 50,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 225,000	
合計額(D)=(B+C)		¥ 275,000	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 80,000	イベント外部講師謝礼 2人分×2回分
	印刷製本費	¥ 100,000	チラシ印刷 地域ねこ活動周知用
	消耗品費	¥ 15,000	チラシ用紙代 地域ねこ活動周知用
	使用料	¥ 12,000	イベント会場使用料
	賃借料	¥ 16,000	パネル、等
	通信費	¥ 27,000	電話代 郵送費
	対象経費の合計(E)		¥ 250,000
(その他経費)	食糧費	¥ 5,000	講師 昼食代
	交通費	¥ 20,000	交通費 ガソリン代
	その他経費の合計額(F)		¥ 25,000
合計額(G)=(E+F)		¥ 275,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×842円
	まつど地域ねこ会企画会議 (6回)	101,040 円	10 人 × 2 h × 6 回 × 842 円
	地域ねこ活動 講習会準備 (2回)	33,680 円	10 人 × 2 h × 2 回 × 842 円
	地域ねこ活動 チラシ配り (3回)	75,780 円	10 人 × 3 h × 3 回 × 842 円
	講習会 地域ねこ活動とは (2回)	50,520 円	10 人 × 3 h × 2 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
	合 計 (A)	261,020 円	